

おおつ市民環境塾2025

～未来のため 私たちにできること～

講座9 講演会

琵琶湖の在来魚の 在来魚のにぎわいを取り戻すために 産卵環境を考える

かつて琵琶湖や川でたくさんとれて食卓にもものぼっていた琵琶湖の様々な在来魚は、昭和の終わりごろから始まった水辺の環境変化などによって激減し、現在に至っています。

本講座では、その大きな原因の一つと考えられている産卵環境の改変と、それに対する改善策の現状を紹介し、近年の産卵調査の結果をふまえながら、在来魚のにぎわいを取り戻すためには今後どのようなことをしていけば良いかを考えます。

講師

国立環境研究所琵琶湖分室 分室長

馬淵 浩司 氏

明日都浜大津1F
市民活動センター大会議室

11/29(土)

14:00~16:00

[定員・参加費] 30名・無料

[参加申し込み・問い合わせ先]

☎ 077-526-7545

✉ info@otsu.ondanka.net

〒520-0047 大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津4F 大津市地球温暖化防止活動推進センター

(特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム)

応募は電話またはメールで「ヨシ原の変遷」或いは「琵琶湖の在来魚」と、参加者全員の「お名前」「ふりがな」および代表者の「郵便番号・住所」「平日昼間連絡可能な電話番号」を上記へ。

応募フォーム
はこちら→



※当事業は、大津市の委託により、大津市地球温暖化防止活動推進センターが実施しています。